



本号の内容：

[ニュース要約](#)

[記事・解説](#)

[各国部会](#)

ニュース要約：

[環境技術に関する発明とイノベーションの促進 - パンデミックの影響を踏まえた国際的な視点での考察](#)

この論文では、特許の早期審査プログラムを改善・展開するアプローチについての提言と、環境技術分野において迅速なイノベーションを進めるための補完的政策について述べています。また、世界的なパンデミックの経験に基づき、公衆衛生の危機的状況と、そうした状況において健康上のリスクを低減させるために必要となる迅速なイノベーションとの関係についても解説しています。

[AIPPI Library](#) で全文を読む

[AIPPI Essay Prize - 受賞作品をサイトに掲載中](#)

2020年のAIPPI Essay Prizeのテーマは「COVID-19と知財の世界への影響」でした。

受賞者は、2020年AIPPIオンライン総会で発表され、現在、[受賞3作品](#)すべてをオンラインで読むことができます。

受賞者のみなさん、おめでとうございます。応募者および審査員のみなさん、本当にあり

がございました。

[2020年 AIPPI 総会において名誉会員と功労者を表彰](#)

AIPPI Award

2020年 AIPPI オンライン総会のグランドフィナーレにおいて、President に就任した Luiz Henrique do Amaral より表彰者の発表がありました。

Olga Sirakova は、AIPPI への貢献により名誉会員 (Member of Honour) に選出され、Calum Smyth には、2019年の AIPPI ロンドン総会開催に対する功績により功労賞 (Award of Merit) が贈られました。

[AIPPI に関するニュース報道](#)

世界各地で AIPPI の活動がどのように報じられているかを紹介するページです (記事を読むために、登録や購読申込が必要な外部サイトもあります)。

ネットや紙媒体で AIPPI に関するニュースを発見した場合は、publications@aippi.org までお知らせください。

記事・解説：

仲裁による知財分野の国際紛争解決を推進するため WIPO がミラノ商工会議所仲裁委員会と協力

Cristina Bianchi, AIPPI Italy

知的財産権の紛争には、複数の法域に及び、技術的な問題が関係しているケースもよくあります。こうした紛争を解決するには、迅速でありながら的確かつ柔軟で、ビジネスのニーズを満たすことができる専門的手続が必要です。

域内市場の国際化が世界中で進んでいる現在、従来の裁判所での公判あるいは調停に代わる、前段階での解決策となり得るのが仲裁です。

[続きを読む](#)

楽曲に対する権利の売買

Disha Dewan of R K Dewan & Co, India

お気に入りの楽曲に投資して、その曲の一部またはすべての所有者になろうと考えたことはありますか。曲作りをしていなくても所有者になれるとしたら、どうですか。個々の楽曲あるいはリストされた複数の楽曲に対する、ロイヤルティや株式を売り買いするビジネスについて紹介しましょう。現在、新人から世界的に有名なスターまで、さまざまなアーティストがこの動きに加わっています。Spotify のようなストリーミング・サービスに加入するのが普通のことになっているわけですから、従来のものに代わる投資の機会として、ロイヤルティの可能性を検討してみるのも、面白いかもしれません。

[続きを読む](#)

インド：知財審判部がようやく本格稼働

Manisha Singh, AIPPI India

知的財産権審判部（IPAB）では、ある一定の期間を除いてずっと業務が行われておらず、その実態は謎に包まれているようでした。業務が行われなかった一番の理由は、IPAB の委員長、副委員長、司法委員、技術委員などの任命が遅れたことですが、この遅れは、委員長、副委員長、司法委員、技術委員の任命に関する IPAB 規則に異議を唱える申し立てが、何件も出されていたことに起因します。そしてこの問題は、2017 年に新たに制定された「裁判所、上訴裁判所およびその他の当局（メンバーの業務に対する資格、経験、その他の条件）に関する規則」によって、解決されたようです。

[続きを読む](#)

中国：専利法第 4 次改正は 2021 年 6 月 1 日施行

Xiaoling DUAN of Wanhuida Intellectual Property, Beijing, China

専利法第 4 次改正案が、2020 年 10 月 17 日に全人代で可決され、2021 年 6 月 1 日より施行されることになりました。

主な改正点は以下の通りです：1) 民事訴訟における損害賠償、2) 部分意匠の適格性、3) 薬品に関するパテントリンケージ、4) 専利期間の補償、5) 行政部門による執行、6) 専利権濫用の規制、7) 専利の実施および運用、8) 新規性のグレースピリオド。

[続きを読む](#)

日本：損害賠償額の算定方法の見直しと査証制度の創設

勝沼国際特許事務所 勝沼宏仁

2019年5月に特許法が改正され、特許侵害に対する損害賠償額算定方法の改正が2020年4月1日に、新たに設けられた査証制度については10月1日に施行されました。

[続きを読む](#)

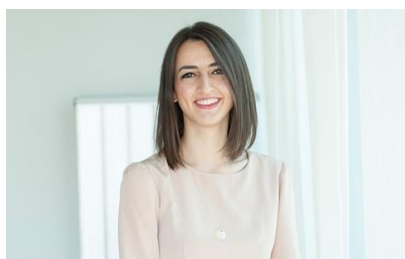
トルコ：登録商標を真の権利者へ売却しようとする試みまたは第三者へ売却するという脅しによる悪意を認定

Berrin Dinçer Özbeý & Elif Melis Özsoy of Gun + Partners Law Firm, Istanbul, Turkey

Mezzo Mix, 11th Chamber of the Court of Appeals, date 11.11.2019 no. 2018/5813 E., 2019/7065 K.

控訴裁判所（第11民事部）は、登録商標を真の権利者へ売却しようとする試みたり、第三者へ売却すると脅したりする行為が悪意になるとする一審判決を支持する判断を示しました。

[続きを読む](#)



Berrin Dinçer Özbeý



Elif Melis Özsoy

タイ：知的財産局による特許法改正案の最新版

Darani Vachanavuttivong, of Tilleke & Gibbins, Bangkok, Thailand

2020年9月30日、知的財産局（DIP）は、特許法に関する最新の改正案を公開するとともに、パブリックコメントの期間を9月30日から10月31日までとしました。改正案は、特許と意匠の両方が対象となります。

[続きを読む](#)

ペルー：パンデミック時の産業財産分野における行政機関との協力

Maria del Carmen Arana Courrejollés, National Group Reporter, AIPPI Peru

パンデミックに見舞われている現在、特許、商標、意匠および実用新案の権利取得、さらには産業財産権を守るための（異議、不使用による取消、無効、違反などに関する）さま

さまざまな法的措置は、知的財産保護庁（INDECOPI）のオンラインシステムを使って電子的に申請されています。

[続きを読む](#)

フィリピン：知的財産庁が著作権者の再販権に関する規則を制定

Ma. Sophia Editha Cruz-Abrenica, of Villaraza & Angangco, Philippines

知的財産権および創作物との関連で、アーティストやその他の才能ある人々を憲法で定める通りに保護するとともに、販売後の譲渡や再販の利益に対するアーティストの権利を明確にするため、「再販権に関する実施規則および規制」（Memorandum Circular No. 2020-023）が、2020年7月に知的財産庁（IPOP HL）より公布されました。

[続きを読む](#)

ロシア：地理的表示

Vladimir Biriulin, President of the AIPPI Russian National Group

ロシアは「原産地名称の保護及び国際登録に関するリスボン協定のジュネーブ改正協定」への加盟を予定しており、このことが、地理的表示の制度を導入するもう一つの理由になっています。リスボン協定によれば、原産地名称とは「国、地域または土地の地理的名称であって、商品がそこから生じていることを示すために用いるものであり、商品の品質または特徴が自然的要因および人的要因を含む地理的環境に専らまたは本質的に由来するもの」とされています。協定の最新版は「原産地名称及び地理的表示に関するリスボン協定のジュネーブ改正協定」であり、保護の範囲を地理的表示にまで拡大しています。

[続きを読む](#)

ロシア：商標、サービスマークおよび原産地名称に関する条約

Vladimir Biriulin, President of the AIPPI Russian National Group

ユーラシア経済連合の国々は、共通商標の問題を何年にもわたって協議してきました。多国間協議は、すべての参加国の立場を調整する必要があるため、多大な時間を要し、2020年2月3日によくモスクワで条約調印が行われました。2020年9月時点で、英訳版はありません。この条約により、出願人はユーラシア経済連合の全加盟国（アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、キルギス、ロシア）において同時に商標登録を受けることができます。登録は共通の登録原簿へ一元化されます。

[続きを読む](#)

各国部会：

[AIPPI 中米カリブ地域部会による調査研究](#)

AIPPI 中米カリブ地域部会は、同地域における最近の動向と、各国における知的財産制度改善の可能性を探る目的で、調査を実施しました。

COVID-19 による世界的なパンデミックと、各国政府ならびに知財庁の対応についての質問を中心に 8 月と 9 月に実施したこのアンケート調査は、地域内の法律事務所および実務者を対象としています。

[AIPPI ベルギー部会：毎年恒例の Study Day（2020 年 12 月 3 日）のご案内](#)

知財実務者の皆様

[AIPPI ベルギー部会](#)より、毎年恒例の [Study Day](#)（2020 年 12 月 3 日）についてのご案内です。

今回の 4 部構成のウェビナーでは、特許法、商標判例法、および知財紛争の金銭的な側面について、最新の情報を交えて、最近の動向と今後の見通しをお伝えします。



AIPPI General Secretariat

Tödistrasse 16

8002 Zurich – Switzerland

Tel: +41 44 280 58 80

mail@aippi.org

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。